

# 平成 21 年度 事 業 報 告 書

当財団は設立以来 17 年、地域振興、物産振興、食品加工技術の各支援事業及び十勝産業振興センターの運営事業など地域産業活性化のための事業を推進して参りました。

平成 21 年は春耕期の降雪、5 月の強風、6 ~ 7 月の低温・多雨・日照不足など厳しい気象条件でしたが、関係者のご努力により、管内 24 農協の販売取扱額は 2,444 億円と十勝農業の底力が発揮され地域経済を下支えしたといえます。

当財団はこの力強い十勝農業から産出される農畜産物及び水産物の高付加価値化や産業技術高度化に関する技術開発のため帯広畜産大学や公立試験研究機関、地元企業との連携強化に努めるとともに「都市エリア産学官連携事業」「バイオエタノールに関する調査・研究事業」、等、地域のニーズに即した課題を掘り起こし受託事業の拡大にも努めて参りました。

今後とも十勝における産業の高度化を図るため産学官連携の一層の強化に努め事業目的の達成に向け、更なる努力を傾注してまいり所存ですので一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、当財団の今年度を実施した事業概要を報告致します。

**地域振興支援事業**は関係団体と連携し異業種交流事業としての「テクノプラザ帯広」への参加を実施したほか各種業界団体との交流や運営支援等を行いました。

**地域活性化支援事業**は、「都市エリア産学官連携促進事業」(文部科学省)など帯広畜産大学や公立試験研究機関との連携による研究開発事業を推進するとともにバイオエタノールに関する調査・研究事業に取り組みました。

**物産振興支援事業**は、各地における物産フェアへの出展、道内外における十勝産品の販路拡大のための物産展への参加など P R 活動や生産技術向上事業を実施するとともに「フーデックス・ジャパン 2010」への出展支援を行いました。

**産業連携支援事業**は、産学官連携の強化のため帯広畜産大学の地域共同研究センターなどとの連携のもと、十勝圏域における産業クラスターの形成に向けた取り組みを行うとともに地域産業活性化のため十勝ブランド確立事業、新事業創出等の支援事業を実施しました。

**食品加工技術支援事業は**、食品加工相談、技術指導、各種講習会・研究会なを実施し、地域農産物高度利用のための事業を展開した他、試験研究事業では 5 課題について研究を行うとともに、地域の食品加工技術の向上、製品開発を促進を図るとともに検査分析、設備機器開放等の事業を実施しました。

**十勝産業振興センター事業は**、地域資源や企業ニーズを把握し、製品開発、製造技術改善十勝地域の技術力高度化に関する試験研究のほか、検査分析、人材養成などの事業を実施し「ものづくり産業」活性化の拠点としての事業推進に努めました。

**財務面は**、財団全体の事業活動収入総額 653,849,647 円、事業活動支出総額 604,574,563 円となり今期の事業活動収支は 49,275,094 円、これに投資活動収支、財務活動収支、前期収支差額を加算した次期繰越収支差額は 61,730,723 円となりました。

なお、事業活動収入の内、受託・補助事業は、17 件で総額 383,555,344 円の受託・補助金を受け事業を実施しました。